

集落営農組織研修会(R7・12・2)

持続的な経営に向けて 地域にあった体制づくりを

管内に42ある集落営農組織の代表者、行政、JA担当者44人が参加。「集落営農の機能と役割」と題して県北広域本部の木下直美主幹より講話があり、地域農業の在り方を確認しました。また、熊本県農林水産部生産経営局農業技術課農業革新支援センター主幹の柴山豊氏が「集落営農の課題と解決策を考える」と題して講演。集落営農の背景・問題、目的・目標を示し、事例を交えながら「今後に向けての手段の一つとして法人化などの対応策を考えよう」と述べました。



栗原副会長あいさつ



講演する柴山氏



地域営農法人研修会(R7・12・11)

法人経営は人材育成が大切 計画・目標をしっかりと

地域営農法人の経営者、行政、JA担当者40人が参加。くまもと社会保険労務士事務所・社会保険労務士の西原哲朗氏が「適切な労務管理による人材の定着と育成」と題して講演。労働法の基本や労働基準法のポイント、労働保険と社会保険の違いや、人材の定着と育成などについて説明し、「法人を経営していくには人材育成が大切であり、雇用者に対する適切な賃金と評価は必須である。労働基準法などの法改正は常に確認し、従業員満足・会社満足・法人に携わる方が満足できるような計画や目標をしっかりと持ってほしい」と力強く語りました。JAは融資資金の案内を、県北広域本部からはラジコン除草機の紹介や求人ツールの紹介、法人の連携・合併に向けた取り組みに対する事業の紹介などの情報を提供しました。



江藤会長あいさつ



講演する西原氏



※菊池地域は地域営農法人の設立数が県内トップです。

研修会は、法人の経営・運営における課題解決と発展を目的に毎年開いています。

※菊池地域営農組織連絡会：会長 江藤梅雄、副会長 栗原康敏

地域の
農地を
守ろう！



©よい食P